

第61回

衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会
議事要旨（案）

開催日時 2023年12月1日 13:00～14:00

開催場所 オンラインおよび実開催（衛星放送協会会議室）

出席者

委員長	舟田 正之	立教大学 法学部 名誉教授
委員	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶應義塾大学大学院 法務研究科 教授
委員	岡本 光正	(一社)衛星放送協会 専務理事
委員	笹島 一樹	(株)インタラクティブィ代表取締役社長
委員	松谷 浩一	(株)スカパーJSATホールディングス 取締役
委員	奥永 孝仁	スカパーJSAT(株) 執行役員メディア事業部門長代行

事務局	池田 邦彦	(一社)衛星放送協会 事務局長
	堀 智一	スカパーJSAT(株) メディア事業本部 放送事業部長
	酒井 陽一	スカパーJSAT(株) メディア事業部門経営企画部シニアエキスパート

【資料】

- | | |
|--|-----------------------|
| 61-1 第61回議事次第 | 61-5 普及促進委員会 報告 |
| 61-2 第59回ガイドライン委員会議事要旨案
第59回ガイドライン委員会議事録案 | 61-6 11月22日経営者連絡会について |
| 61-3 第60回ガイドライン委員会議事要旨案
第60回ガイドライン委員会議事録案 | |
| 61-4 ガイドラインの運用状況について | |

1. 委員長挨拶

舟田委員長から「第59回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催する旨の宣言があった。

実開催およびオンラインにて開催された。

2. 前々回（第59回）および前回（第60回）議事録の承認・確定について

事務局より、前々回第59回議事録(案)、第59議事要旨(案)（資料61-2）および 前回第60回議事録(案)、第60議事要旨(案)（資料61-3）について、委員会に諮問され、承認された。

3. 申立の有無

放送代表委員から、前回の本委員会から今日に至るまで、申立は無かったことが報告された。

4. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

(1) ガイドライン運用全般について

スカパーJSAT代表委員から、2023年8月～2023年10月におけるガイドライン運用全般について「資料61-4」に沿って説明がなされ、ガイドラインに則り、運営されていることが報告された。

また、スカパーJSATの事業者向け情報開示について、以下の説明があった。

経営者連絡会 実施概要

－2023年8月25日開催－

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(1) プラットフォーム事業者の提供する役務:加入の状況、当社が実施した普及促進業務等の説明

1. 2023年第1四半期の業績概要

- ・スカパー！3サービスの新規加入、解約、純増減の各件数実績の年度推移
ARPU推移、加入獲得コストの内訳と各年度推移
- ・スカパー！3サービスの顧客数純増減累計

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-2-(3) プラットフォーム事業者に係るソフト事業の透明性:「自らが放送するコンテンツの関連収入と費用の概要、実施結果」の報告

1. 2023年度 第4四半期のコンテンツ事業収支と年度推移

事業者連絡会 実施概要

－8月25日、9月29日、10月27日開催（すべてWeb会議開催）－

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

II-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：普及促進業務に関わる計画の事前説明

1. プラットフォーム編成とプロモーション予定
開催翌月以降の予定（各月説明）
2. スカパー！番組アプリ リニューアルについて（8月度）
3. 2023年度秋口施策「スカパー！熱狂フェス」に関して（8月度・9月度）
4. 番組情報DBの更改について（9月度）
5. 加入きっかけワードの変換ルール変更について（10月度）
6. Myスカパー！定期メール配信の開始について（10月度）

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

II-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：実施結果の報告

1. 加入概況報告（各月報告）
 - ・新規、再加入、解約、純増の前月件数実績、当月見込み件数、翌月計画件。
 - ・2012年からの3サービスにおける顧客件数推移とICカード件数の推移
2. 番組配信 利用状況について（8月度）

[放送事業者の開閉局の動向（2023年8月～2023年10月）]

スカパー！：開局0ch | 閉局0ch | 事業譲渡0ch | 社名変更0ch | 内容等変更0ch |

チャンネル名称・料金変更 2ch | パックセット新設・変更 0ch

プレミアム：開局0ch | 閉局0ch | 事業譲渡2ch | 社名変更0ch | 内容等変更0ch |

チャンネル名称・料金変更 2ch | パックセット新設・変更 0ch

[社内委員会の設置による適正性の確保（2023年8月～2023年10月）]

ガイドラインの運用が適正に行われているかをチェックするためのスカパーJSAT

社内委員会は2023年8月22日、10月6日に開催され、その概要が報告された。

(2) 普及促進委員会の開催状況

事務局より、2023年8月から2023年10月までに開催された、親会および施策検討WGについて報告があった。（資料61-5）

5. 11月22日経営者連絡会について

スカパーJSAT代表委員から、11月22日に開催された経営者連絡会の内容が説明された。（資料61-6）

経営者連絡会 実施概要

－2023年11月22日開催－

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(1) 役務と提供条件の関係の透明性「徴収した手数料等の使途概要」の説明

1. 2023年第2四半期の業績概要

- ・スカパー！3サービスの新規加入、解約、純増減の各件数実績の年度推移
ARPU推移、加入獲得、コストの内訳と各年度推移
- ・番組配信 登録者数の推移

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-2-(3) プラットフォーム事業者に係るソフト事業の透明性：「自らが放送するコンテンツの関連収入と費用の概要、実施結果」を報告

1. 2023年度第2四半期のコンテンツ事業収支と年度推移

6. 意見交換

放送や配信での番組調達における著作権や権利処理に関して意見が交わされた。

岡本放送事業者代表委員より

番組調達するにあたって、放送権に加えて配信権を付けるとなると、高額になってしまうので、チャンネル側としては調達しづらいのが現状である。

業界全体としては、同時再送信ということが当たり前にしていかなければ、放送自体が衰退していつてしまう。

放送についても、日本は米国に比べても特殊で、BSとCSで権利が異なっている状態である。こういう状況であることを改めるように啓蒙していかないと、同時再送信は難しいと思われる。

放送の意義というものはあるかもしれないが、少子化で視聴世帯が減っていく中で、配信も含めた同時再送信ということに舵を切っていくべきである。

笹島放送事業者代表委員より

音楽著作権など日本の仕組みは非常にややこしいことになっている。相場観で言えば、アマゾン・プライム・ビデオやU-NEXT等、配信系が支払っている権利の相場がある程度できあがってしまっている。それがCS放送事業者としては少し高い権利相場となっている。そこに我々が同じ配信の土俵で放送の形でやるから、今までの権利の中に包含しろというのは、これは議論が出てくる可能性があると思う。

岡本放送事業者代表委員より

JASRAC等とは、オンデマンド等の配信も権利を付けるという話をしている。現に見逃し配信等があるので、同じサービスの拡大ということで解釈できる。放送では限度があって、そこにプラスアルファも付けた権利処理ができる

ようにしたいと思っている。

最終的には、放送事業者が配信も含めたコンテンツとして権利交渉など努力していくべきだと思う。

ガイドライン変更後の状況に関して意見が交わされた。

岡本放送事業者代表委員より

3月1日付でガイドラインが変更後、半年以上が経ったが、それについて、どのような状況なのか。

本当に良くしていくために、ガイドラインが変更したことにより、変化があったとか、問題点があれば共有するなど、本当に良くしていくためにも俎上に上げて、議論いただければと思う。

松谷スカパーJSAT代表委員

今までガイドラインの枠にはめられてきたという意識があり、多少緩和したとか、もう少し突っ込んでできるんだという、社内の意識改革が先になければならない。今その意識改革が進んでいるという状況である。

危機意識も含めて、どうだったかという率直な意見交換は行いたいと思う。

7. その他

- ・次回開催について

2024年3月1日（金）13:30から開催予定。

以上